

お知らせ 「交通安全ひと声運動」へのご協力について(お願い)

北海道内の交通事故死者数に占める高齢者の割合は年々増加しており、昨年は約46%と半数近くを占める憂慮すべき事態となっており、さらに本年は、交通事故死者数に占める高齢者の割合が51%超という状況で推移しています。

北海道警察では、高齢者の交通事故防止対策として、各種業界や団体との連携により「交通安全ひと声運動」を推進しており、このたび各医療機関において下記アドバイス等、高齢者に対する働きかけをお願いいたく依頼があったものです。

各位におかれましても、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

(北海道医師会総務部)

高齢者の交通事故の特徴と交通事故防止アドバイス

—北海道警察本部交通企画課—

歩行者事故(過去5ヵ年データ 平成18年～平成22年)

特徴

- ・歩行中の死者のうち、約7割は65歳以上の高齢者
- ・夜間歩行中死者のうち、約6割は車から見て右から左へ横断
- ・午後4時から午後8時の時間帯の発生が約5割
- ・自宅から500メートル以内の発生が約7割

アドバイス

- ・横断歩道を渡る
- ・「道路の渡りはじめ」と「渡っている途中」で左右の安全を確認する
- ・外出は明るいうちに済ませる。暗くなってからの外出は、明るい色の服装と夜光反射材を活用して運転者から発見されやすくする



自転車事故(過去5ヵ年データ 平成18年～平成22年)

特徴

- ・自転車乗車中の死者のうち、約7割は65歳以上の高齢者
- ・午前8時から午後0時の時間帯の発生が約5割
- ・通行目的は、買い物や訪問で約6割
- ・自宅から500メートル以内の発生が約4割、1km以内では約8割

アドバイス

- ・道路を横断するときは、一時停止して左右の安全を確認する
- ・交差点では、右左折車両に巻き込まれないよう、他車の動きを確認する
- ・交通ルールを守り、信号などに従って横断する
- ・暗くなってからの外出は、明るい色の服装とライトを点灯する



運転中の事故(過去5ヵ年データ 平成18年～平成22年)

特徴

- ・事故原因は、前方不注視や操作不適などの「うっかりミス」が多い
- ・事故の状況は、正面衝突や単独事故が多い
- ・通行目的は、訪問や業務、通勤中で約5割

アドバイス

- ・止まるところはしっかり止まり、人、自転車、車の有無を確認する
- ・カーブの手前では減速する
- ・加齢による身体機能低下を自覚し、体調不良時には、運転を控える
- ・普段から、軽い運動や体操などで身体機能の低下を抑える

